

BOY5

美しいぼろ布展

「日本人は何を失い、何を守ってきたのか？」

布文化と浮世絵の美術館
アミューズ ミュージアム

毎週月曜休館(祝日の場合は翌日、ただし9月21日は開館) 開館時間 10:00~18:00(最終入館は閉館の30分前まで)
一般1,000円/大・高生800円/中・小学生500円(未就学児童無料)

<http://www.amuseum.com>



「BORO」=「ぼろ」。かつて北国・青森の村々では、布はとても希少なものでした。
 一着の着物を何世代にも渡って着ることは当たり前。
 綻びにはツギを当て、過酷な風土から身を守るために粗い麻布を重ね合わせ、刺し子を施して補強する。
 それでも使えなくなった着物は細く裂いて織り、新しい布に姿を変える——。
 「循環型社会」や「エコ」という言葉が叫ばれる現代ですが、かつての日本にはまさに、
 これらの言葉が生活に密着し、言葉を意識しなくても自然の摂理の中で生きていた時代があったのです。
 そのような時代は物質的には「貧しい」と表現されても、今よりも「豊か」だったのかもしれない。
 私たちは何を失い、何を守ってきたのか——。「BORO」を見つめ、私たちの「今」への答えを探ってみましょう。

布文化と浮世絵の美術館

アミューズ ミュージアム

営業時間 / 展示室 10:00~18:00 ※最終入館は閉館30分前まで(毎週月曜定休・月曜祝日の場合は翌日休館)
 Bar six (6F) 18:00~2:00(月曜定休) TEL.03-5806-5106
 入館料金 / 一般1,000円 / 大・高生800円 / 中・小学生500円 / 未就学児童無料 一般団体料金800円(15名以上)
 ※ただし1Fショップ、6Fバーには入館料はかかりません

〒111-0032 東京都台東区浅草2-34-3(浅草寺本堂右手・二天門前)

TEL.03-5806-1181 <http://www.amusemuseum.com/>



AMUSE MUSEUM

東京外口銀座線・東武伊勢崎線「浅草駅」から徒歩5分
 都営浅草線「浅草駅」から徒歩8分
 つくばエクスプレス「浅草駅」から徒歩8分

※駐車場はございません。お車で来館される方は近隣の駐車場をご利用下さい